



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.11.21(月)

No.111



文責
松永

11月も後半です！子どもたちのがんばりが見られて嬉しいです。

朝の空気はひんやりとしていて、背筋が伸びるような感じがします。「心かがやけ月間」にあわせて取り組んでいるあいさつ運動も、今週は4年生の担当から始まっています。あいさつ運動に立った子どもたちの元気な「おはようございます」の声に応えるように、受ける側の子どもたちもあいさつを返しています。毎日2人ずつ来てくれている高校生も「小学生のあいさつは元気があると思います」と言ったコメントを聞かせてくれています。先日は、高校の教頭先生も来校されて3年生の子どもたちと一緒に正門でのあいさつ運動に参加してくださいました。「こういう機会をもらって、高校生もいい刺激になっています」と、連携ができていることを喜んでいただきました。



先週から、ハートフルコンサートに向けて、体育館での練習が始まっています。そのために音楽室からの楽器を運ぶ必要があります。その役割を、5年生の子どもたちと先生たちが担ってくれました。重い楽器は、声をかけ合って協力して運んでいました。練習の様子をのぞいてみると、みんなが一つになってがんばっている様子が見られます。朝からも練習する音が聞こえてきます。学年での練習を通して、合唱や合奏などをつくり上げていく過程は、学年「全」体がまとまる意味でもいい機会です。県立劇場での本番当日に向けて、「全」力でのぞんでほしいと思います。楽しみにしています。



校内を回っていても、季節感を感じる場面にいろいろと出あいます。1年生は生活科の「秋のおもちゃをつくらう」の学習に取り組んでいました。色づいた葉っぱやどんぐり、まつぼっくりといった材料を準備して、けん玉やマラカスなどのおもちゃを作っていました。2年生教室の廊下には、10月に行った見学旅行のまとめやその時のことを題材にして描いた絵が展示してありました。力作ぞろいでした。お互いに学びを振り返り、共有することができますね。運動場では、きれいに色づいた木々の下で、遊具を使った運動に取り組んでいる様子が目に入ってきました。秋は、じっくり落ち着いて取り組むにはいい季節だと言われます。学習に、読書に、スポーツにと、自分なりの目標をもって取り組んでみてください。きっと何かしら得るものがあると思います。

